

JICA「中小企業・SDGsビジネス支援事業 地域金融機関連携案件」への参画について

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、独立行政法人国際協力機構（JICA）の委託事業である、2023年度「中小企業・SDGsビジネス支援事業」へのお取引先の案件申請を支援し「地域金融機関連携案件」として当行が参画する内容で採択されたことから、その内容について、下記のとおりお知らせいたします。

当行では2017年2月に、独立行政法人国際協力機構東北センター（JICA東北）と「業務連携・協力に関する覚書」を締結しており、お取引先への案件採択支援は今回が4件目となります。

記

<事業概要（予定）>

案 件 名	ベトナム国における付加価値の高いカキ養殖に関する普及・実証・ビジネス化事業
採 択 法 人	株式会社ヤマナカ（宮城県石巻市、代表取締役 高田 慎司） うみの株式会社（徳島県海部郡、代表取締役 中村 智治）
対 象 国 (地 域)	ベトナム国（カインホア省） ベトナム政府は、農水産業に国際競争力を持たせ、主力産業の一つに発展させたいとの目標を掲げ、特に漁業の生産性向上に向けた人材育成や漁業関係者の生計向上を目指した取り組みを行っています。 ヤマナカ社による先行調査によって、事業対象地のカインホア省では、養殖技術向上や種ガキの品質向上と安定供給、生産性の向上が特に課題であることが分かっています。  <ベトナム・ニャチャンにおけるカキ養殖風景>

事業概要	付加価値の高いカキ養殖に関する普及・実証・ビジネス化事業。本事業後にベトナムにおいて付加価値の高いカキ稚貝の生産・販売を行い、カキ養殖の実現につなげることで、ビジネス展開を図り、ひいてはベトナム国のカキ養殖業者の所得向上と水産業のさらなる発展への貢献を目指します。
事業費総額	約1億円

(参 考) JICA「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」について

JICA の「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」は、企業が有する優れた技術や製品、アイデアを用いて、途上国が抱える課題の解決と、日本企業の海外展開、ひいては日本経済の活性化も兼ねて実現することを目指すものです。

また、「地域金融機関連携案件」は、途上国の課題を解決するSDGsビジネスの実現性向上と、地域活性化に一層資することを目的に、提案法人と地域金融機関が連携して海外展開を検討・調査する案件のことを指します。

(関連するSDGs)



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。

七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言 ～もつと、ずっと、地域と共に。～」を表明し、SDGsに対する取組みを更に強化するため、2021年10月より「SDGs実践計画」を策定しております。

以 上